

■ 評価基準及び配点

評価項目	様式	評価事項	評価の着目点	配点		
				小計		
会社概要調書による評価	企業の同種業務の経歴	様式 2	同種業務実績の件数	過去の同種業務実績件数について評価する。	3点	3点
	企業の同種業務の実績	様式 3	同種業務の実績事例	過去に携わった同種業務の実績を次の着目点から評価する。 ・業務の概要 ・業務の技術的特徴	1件につき各2点	6点
	配置予定技術者(総括責任者)の経歴等	様式 4	配置予定技術者の資格	技術士等の本調査にかかる資格があれば、2点を加点。	2点	9点
		様式 4 様式 5	同種業務実績の件数と内容	過去の同種業務実績件数と業務内容について評価する。業務内容については、配置予定技術者の過去に携わった同種業務の実績を次の着目点から評価する。 ・業務の概要 ・業務の技術的特徴 ・当該技術者の業務担当の内容	5点	
		様式 4	業務の繁忙度(手持ち業務件数)	当該業務従事への専念度合い(手持ち業務の件数)を評価する。 <業務が多いほど、本業務遂行に支障あり>	2点	
	配置予定技術者(担当技術者)の経歴等	様式 4	配置予定技術者の資格	技術士等の本調査にかかる資格があれば、2点を加点。(担当技術者)	2点	7点
			同種業務実績の件数	過去の同種業務実績件数について評価する。	3点	
			業務の繁忙度(手持ち業務件数)	当該業務従事への専念度合い(手持ち業務の件数)を評価する。 <業務が多いほど、本業務遂行に支障あり>	2点	
	協力会社等	様式 6	協力会社の使用	協力を受ける内容が、主たる部分の場合には、受託候補者とし ない。	—	—
	応募者概要	貸借対照表 損益計算書	債務超過等	現在の財務安全性を評価する。	3点	3点
<b>会社概要調書 計</b>				<b>28点</b>		
技術提案書による評価	業務の実施方針及び体制、スケジュール	様式 8	業務の理解度、実施方針的的確性	業務目的、業務内容、業務にかかる手続の理解度及び業務を実施するにあたっての考え方や業務の進め方が明確に示されているか、また実施方針が妥当性のあるものかどうかを評価する。	5点	15点
			実施体制の妥当性	業務の実施方針に基づき、着実に業務を進めていく体制であるかについて評価する。特に業務内容を踏まえ、企業・団体へのヒアリングや国・有識者との連携、本市と適宜協議する体制となっているかを評価する。	5点	
			スケジュールの妥当性、効率性	効率的、効果的に業務を進めるためのスケジュール設定となっているか、契約期間内での業務終了可能な日程となっているかを評価する。	5点	
	課題テーマ(ア)	様式 9-①	提案的的確性	業務目的、業務内容との整合が高い場合に優位に評価する。	9点	19点
			提案の実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。また、提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	10点	
	課題テーマ(イ)	様式 9-②	提案的的確性	業務目的、業務内容との整合が高い場合に優位に評価する。また、調査・検討の相手・方法・程度など、より具体的な計画になっている場合に優位に評価する。	9点	19点
			提案の実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。また、提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	10点	
	課題テーマ(ウ)	様式 9-③	提案的的確性	業務目的、業務内容との整合が高い場合に優位に評価する。また、課題テーマ(イ)の他で検討・提案する内容が示されるなど、より具体的な計画となっている場合に優位に評価する。	9点	19点
			提案の実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。また、提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	10点	
	参考見積の妥当性		業務コストの妥当性	提案に対しての見積が不適切な場合には受託候補者とし ない。	—	—
<b>調査提案書 計</b>				<b>72点</b>		
<b>合 計</b>				<b>100点</b>		